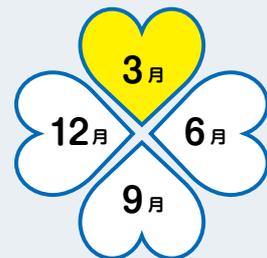


議会だより



えがおで教科書をもらう ^新1年生
～仲南小学校～

Contents

平成31年度当初予算を可決

- 4 当初予算の重点施策
- 7 高齢者祝金に関する条例の一部改正
- 10 委員会報告
- 13 11人が町の考えを問う 一般質問
- 20 議会からこんにちは

平成31年第1回3月定例会は、2月27日から3月14日までの16日間で開催。条例の一部改正、平成30年度補正、平成31年度当初予算など25議案を慎重審議の上、賛成多数で可決。合併特例期間が終了する令和3年度には10億円余りの減収となりますが、今年度も学校教育の充実、次世代育成の支援、生活基盤の整備、農林業の振興、公共施設の適正配置と整理など住みやすい町づくりを目指します。

一般会計の予算総額

114億2700万円

対前年度比1億500万円増
対前年度比0.9%増

特別会計の予算総額

55億4480万円

対前年度比1億6520万円増
対前年度比3.1%増

**平成31年度予算総額
169億7180万円可決**

平成から気持ちも新たに、令和へ

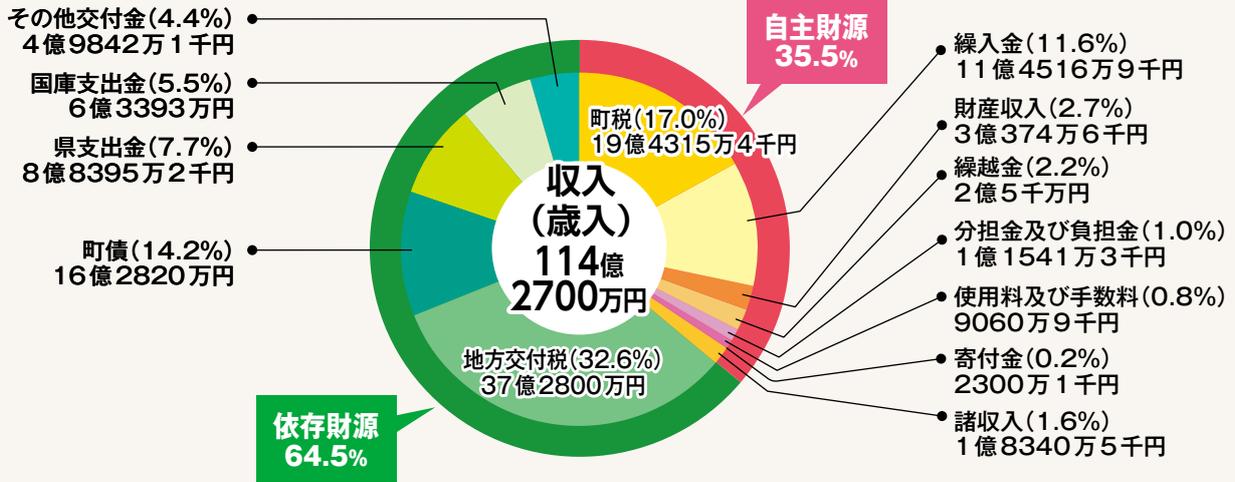
平成31年度当初予算

(単位:円、%)

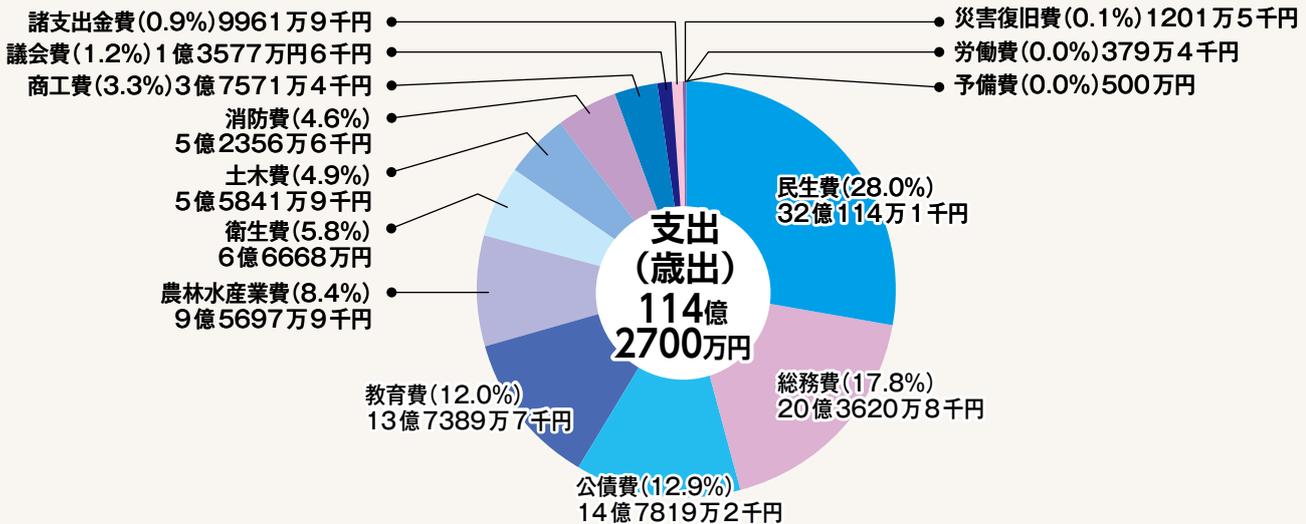
名 称	平成31年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	比 較	
			増減額	増減率%
一般会計	114億2700万円	113億2200万	1億500万円	0.9
特別会計	55億4480万円	53億7960万	1億6520万円	3.1
国民健康保険特別会計	23億8650万円	22億4510万	1億4140万円	6.3
事業勘定	23億1350万円	21億7020万	1億4330万円	6.6
直診勘定(歯科)	450万円	450万	0	0.0
直診勘定(内科)	6850万円	7040万	▲190万円	▲2.7
後期高齢者医療特別会計	2億7100万円	2億7060万	40万円	0.1
介護保険特別会計	26億700万円	25億6100万	4600万円	1.8
下水道特別会計	1億9560万円	2億1000万	▲1440万円	▲6.9
農業集落排水特別会計	3180万円	3300万	▲120万円	▲3.6
浄化槽整備推進事業特別会計	5290万円	5990万	▲70万円	▲11.7
合 計	169億7180万円	167億 160万	2億7020万円	1.6

▲減額

入ってくるお金



使いみち



用語の説明

- 町 税… 町民が納める税金 (町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など)
- 繰入金… 町の預金を下ろして使うお金 他会計や基金から取り入れる資金
- 交付金等… 消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
- 地方交付税… 自治体運営の均衡を保つため、国税(所得税、法人税、酒税など)の一部から配分されるお金
- 国・県支出金… 決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
- 町債… 町が大きな事業を行うため借り入れるお金
- 公債費… 町債を返済するためのお金
- 自主財源… 町が自前で賄うことができるお金
- 依存財源… 地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金

ここに
注目!

平成
31年度

当初予算の重点施策

今後の予算執行において十分にチェック機能を果たしていきます。

目的別事業名	●新規事業 ●拡充事業 ●継続事業	予算額(概算)
学校教育の充実	●仲南小学校施設大規模改修事業	1億円
生涯学習の支援	●旧仲南東小学校体育館 屋根・天井撤去改修事業	4900万円
次世代育成の支援	●満濃南こども園施設整備事業 ●子ども未来夢基金活用事業	1億8000万円 1620万円
低所得層福祉・ 勤労者福祉の充実	●消費税関連商品券発行事業	1億2150万円
生活基盤の整備	●橋梁長寿命化事業 ●町道等維持補修事業	3720万円 1億6760万円
住環境整備	●若者住宅取得補助事業	5270万円
生活安全対策の充実	●消防防災施設整備事業 ●交通安全施設整備事業	1950万円 2200万円
農林業の振興	●有害鳥獣被害対策事業 ●林業振興費 ●木育推進・ウッドスタート事業	1290万円 3300万円 450万円
活力創造と改革	●ことなみ未来会議など	6920万円
公共施設の 適正配置と整理	●琴南総合センター新築事業	4億2320万円

平成31年3月定例会

開催期間 2月27日

～3月14日(16日間)

平成30年度一般会計補正予算(案)
平成31年度一般会計予算(案)・条例
の改正(敬老祝い金に関する条例の
一部改正等)、25議案の審査を行い原
案通り可決した。



新築になる琴南総合センター

平成30年度3月補正予算(概算)

会計名	補正額	予算総額
一般会計	▲1億7380万円	115億3680万円
特別会計	530万円	55億4050万円

平成30年度3月補正の主な内容(一般会計)(概算)

事業名	目的別名	補正予算額
子ども子育て支援事業	児童福祉費	420万円
小規模ため池防災特別対策事業	農業費	▲4870万円

平成30年度3月補正の主な内容(特別会計)(概算)

事業名	目的別名	補正予算額
居宅介護サービス給付	保険給付費	7000万円
施設介護サービス給付費負担金	保険給付費	1500万円

議案の採決結果

賛否の分かれた議案に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議案名等	議席番号		議決結果	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
	賛成	反対		田岡 秀俊	鈴木 崇容	常包 恵	小山 直樹	京兼 愛子	竹林 昌秀	川西米希子	合田 正夫	三好 郁雄	白川 正樹	白川 皆男	大西 樹	松下一美	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	
議案第3号 町敬老祝い金に関する条例の一部改正における教育民生常任委員会の修正案について	6	8	否	○	×	○	×	○	○	×	×	欠	×	○	×	×	×	○	○	7
議案第3号 町敬老祝い金に関する条例の一部改正について(原案)	8	7	可	○	○	×	×	×	×	○	○	欠	○	×	○	○	○	×	×	7
議案第18号 町国民健康保険特別会計予算(案)	13	1	可	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	8

※可-可決 否-否決 ○-賛成 ×-反対 欠-欠席 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号16番)

●平成31年

3月定例会

即決案件

議案第1号

手数料条例の一部改正

国の「不正競争防止法等の一部を改正する法律」による「工業標準化法」の改正に伴い、関係条例中の条文の整備を行った。(条文の日本工業規格を日本産業規格と文言等を変更した。)

議案第2号

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

国の「災害弔慰金の支給等に関する法律及び法律施行令の一部」が改正されたことにより、災害援護資金の貸付償還等について改正した。(災害援護資金の貸付け利率を3%以内とし、規則で定め、保証人を立てた場合は0%とした。)

議案第5号

公共下水道条例の一部改正

町公共下水道条例改正時に第3条を追加したことによる条文の整合性(数字のずれの解消)を行った。

議案第6号

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

学校教育法の一部改正に伴い放課後児童クラブの指導員の資格を拡大した。

議案第7号

公民館条例の一部改正

神野公民館整備工事に伴う神野公民館の位置(番地)の変更を行った。

議案第8号

勤労青少年ホーム条例の一部改正

神野公民館の番地の改正に伴い勤労青少年ホームの位置の変更を行った。



生まれ変わった神野公民館

議案第24号

教育委員会教育長任命の同意

吉野 三原 一夫 氏

議案第25号

教育委員会委員任命の同意

四條 貞廣 美津子 氏

付託案件

各委員会において執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

教育民生常任委員会付託

議案第3号

町敬老祝い金に関する条例の一部改正

敬老祝い金の支給額等の変更をした。

●主な質疑と答弁

【委員】敬老祝い金の改正について、どのように周知し、どのような意見を集約したか。

【執行部】 関係機関等に説明し、意見を聴くなどした。パブリックコメントも実施している。大半の方から「仕方がない」との意見をいただいている。

【委員】 減額した予算をどのように使っていくのか。

【執行部】 老人福祉や介護サービス費の抑制などに繋がるような施策に使っていききたい。

議案第3号に対し委員会より施行日を平成31年度から平成32年度に1年延ばす修正案が提出された。

教育民生常任委員会の修正案を採決

○討論1回目
【反対】

◇川西米希子議員

民生委員会、老人クラブの代表者の方々にも説明し、ご意見もいただいている。パブリックコメントも寄せられている。直接聞かせていただいた住民の方々の声なども参考に修正案に反対する。

◇小山直樹議員

修正案は実施時期を1年間猶予するものだが、縮小することにより変りがない。高齢者のこれまでの社会貢献と共に、今も続く貢献度

を高く評価すべきで、修正案に反対する。

◇松下一美議員

本町の基金は現在78億で、地方債は125億円である。利息は0.01%で、運用益は望めない。今後、大型事業を抱えており、若い世代の方々の負担を思い修正案に反対する。

【賛成】

◇竹林昌秀議員

縮減する額をどこへ充当するか、その展開先はどこか。そして予算は現行条例で組んでいる。扶助費としての別途検討が要る。修正案に賛成する。

○修正案は否決となる

原案の採決

（施行日を平成31年度からとし、現在の対象年齢据え置きで支給額を減額する。平成35年度より77歳の支給を廃止する案。）

○討論2回目
【反対】

◇常包恵議員

条例の改正にあたって町民への周知方法が、町が決めたルール通りに行われていない。町民の多くが知らない改正に反対する。



◇竹林昌秀議員

次年度予算は現行条例により組んでいる。資金に余裕があり、今後ともかく、早急に敬老祝い金の縮減をしなければならぬ根拠はない。反対する。

【賛成】

◇白川正樹議員

敬老祝い金カットではない。個人に支給していたのを老人福祉や介護サービスなどの財源とするが使用道はじっくり検討するということ。執行部の考えに賛成する。

◇川西米希子議員

高まる介護サービスのニーズや第8期介護保険事業計画のより必要とされる事業に使いたいと目的も明確である。原案に賛成する。

○反対・賛成が同数のため、議長裁決により原案可決となる



議案第11号

町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第3号)

事業策定の歳入歳入を1511万6千円減額し、予算の総額を23億353万1千円とした。直営診療施設勘定内科の歳入歳出を100万円減額し、予算総額を7216万円とした。

議案第12号

町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第2号)

歳入歳出を624万6千円追加し、予算総額を2億8004万6千円とした。

議案第13号

町介護保険特別会計補正予算(案)(第2号)

歳入歳出を2989万3千円追加し、予算総額を25億9213万5千円とした。

●主な質疑と答弁

【委員】 適正な制度の運用と介護予防事業を一層推進してほしい。

【執行部】 今後も介護保険給付費は増大していくと予想されることから介護予防に努めていきたい。



議案第16号

町浄化槽整備推進事業特別会計
補正予算(案)(第1号)

歳入歳出を1106万2千円減額し、予算総額を4883万8千円とした。

●主な質疑と答弁

〔委員〕15年経過の浄化槽は使用者に譲渡し、年々減少するとの説明だが浄化槽整備推進事業特別会計はいつ終了する予定なのか。

〔執行部〕平成35年で全ての譲渡が終了する。起債の償還が終わる予定は平成50年である。



4年後には全て個人所有に

議案第18号

町国民健康保険特別会計予算(案)

事業勘定は歳入歳出総額23億1350万円、対前年度1億4330万円

の増額、対前年度比6・6%の増とした。直営診療施設勘定歯科は歳入歳出総額450万円で対前年度同額とした。直営診療施設勘定内科は歳入歳出総額6850万円で対前年度190万円の減額、対前年度比2・7%の減とした。

●主な質疑と答弁

〔委員〕国民健康保険は県が統合したはずだが、保険給付費をなぜ町で予算化しているのか。

〔執行部〕本来なら県が全ての医療費をまとめ各医療機関に支払うのが理想である。その旨担当者会でも協議し、議論してきたが、町が国保連合会に支払うこととなった。

○討論

〔反対〕

◇小山直樹議員

国民健康保険料はサラリーマンの2倍程も重い負担を強いられており、このままでは暮らしが破綻する。均等割は0歳児でも一人として計算される。少子化対策に逆行する。反対する。

〔賛成〕

◇竹林昌秀議員

総務省は市町村にルール分以上の一般財源からの補填を慎む

ように指針を出している。財源調達は、国県との間で拘束されており国民保険税の加減は本予算審議の前に町税条例の改正で対応すべきである。賛成する。



議案第19号

町後期高齢者医療特別会計予算(案)

歳入歳出総額2億7100万円で、対前年度40万円の増額、対前年度比0・1%の増とした。



議案第20号

町介護保険特別会計予算(案)

歳入歳出総額26億700万円で対前年度4600万円の増額、対前年度比1・8%の増とした。



議案第23号

町浄化槽整備推進事業特別会計
予算(案)

歳入歳出総額5290万円で、対前年度700万円の減額、対前年度比11・7%の減とした。



建設経済常任委員会付託

議案第4号

町事業分担金徴収条例の一部改正

平成28年度以降、災害の査定設計料の算出方法が変更され、農家の負担が増えていた。受益者負担額を近隣市町との均衡を図るとともに、農地維持と農家への支援を行うものとした。

●主な質疑と答弁

〔委員〕誰も利用していないため池が災害により決壊した場合、池としての機能が必要なくても復旧するのか。また費用はどうなるのか。

〔執行部〕小規模ため池が該当すると思うが、豪雨などにより満水になり危険であると判断し災害を防ぐ目的で応急的に最低限の堤防開削をして、水をためないようにしたことはある。



かつては使われていたため池

災害以外の場合には県単独事業で、直接受益がないため池については、小規模ため池保全管理協議会で検討し承認が得られた場合、上限200万円まで県と町で費用負担する。なお、災害の復旧事業に要する査定設計料は、工事費等と同じで1-2が地元負担となる。

議案第9号

町道路線の変更

基盤整備による道路の振り替えに伴い町道泥田葉師線の終点を変更した。(起点は真野1291番1地先で終点を岸上1173番地先から岸上669番1地先に変更した。)

議案第14号

町下水道特別会計補正予算(案)(第1号)

歳入歳出を301万3千円減額し、予算総額を2億698万7千円とした。

議案第15号

町農業集落排水特別会計補正予算(案)(第1号)

歳入歳出を67万5千円減額し、補正予算総額を3232万5千円とした。



議案第21号

町下水道特別会計予算(案)

歳入歳出総額1億9560万円で、対前年度1440万円の減額、対前年度比6・9%の減とした。

●主な質疑と答弁

【委員】中讃事務組合負担金を減額する理由は何か。

【執行部】流域下水道の建設負担金の精査の結果である。対象の工事費が確定し減額となったためである。

議案第22号

町農業集落排水特別会計予算(案)

歳入歳出総額3180万円で、対前年度120万円の減額、対前年度比3・6%の減とした。



総務常任委員会付託

議案第10号

平成30年度一般会計補正予算(案)(第5号)

歳入歳出を1億7377万3千円減額し、予算総額を115億3682万8千円とした。

●主な質疑と答弁

【委員】町で発行する地方債のうち臨時財政対策債の限度額はいくらで、現在の発行額はいくらか。

【執行部】臨時財政対策債は、平成28年、平成29年度では、約3億の発行可能額であったが、約1億円を借り入れた。平成30年度は国より通達のあった満額の3億円程度を借りる予定としている。平成31年度についても満額を借りる計画である。

【委員】集落支援員活動事業費の減額の理由は。

【執行部】実際の活動日数が当初予定していた日数より少なかったことによる減額である。集落支援員の活動は取組みだしたところであり、今後、地元集落の事案に密着した相談事などが増えれば活動日数も増えてくると考えている。今後の活動については支援員と協議したい。

【委員】南海トラフ地震の発生時には、現在の消防体制で大丈夫なのか。

【執行部】災害の規模にもよるが、大災害の際には、警察、自衛隊等との連携を想定している。通常の台風災害等であれば現状で対応できる。



※臨時財政対策債…一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債。必要に応じて地方自治体が発行し、償還費用は全額国が負担する。

議案第17号

平成31年度一般会計予算(案)

歳入歳出総額114億2700万円で対前年度1億500万円の増、対前年度0・9%増とした。

●主な質疑と答弁

【委員】収支不足分についての財源対策として財政調整基金繰入金と減債基金繰入金及び繰入金を計上しているが本来、減債基金は公債を計画的に償還していくための基金であるため、通常であれば、財政調整基金からの繰り入れにはならないか。

【執行部】減債基金は対前年度同様、6億900万円を取り崩す予定としている。財政調整基金は、平成29年度合併後初めて3億4千万を取り崩した。減債基金では、公債費が、14億、15億と現在増えつつあり、平成33年、34年度には17億ぐらい返していくことになる。このことから、財政調整基金だけでなく減債基金からも繰り入れ、財政の調整をしている。



教育民生常任委員会

- こども園 ●コンビニ交付 ●保護者支援 ●部活動



発行にはマイナンバーカードが必ず必要

【委員】コンビニ交付の発行時間は。【住民生活課長】午前6時30分から午後11時まで、住民票・印鑑証明・現在戸籍等が取得できる。

コンビニ交付
取得できる時間は



【委員】こども園の職員確保が問題となっているが、正規職員と臨時職員の比率は。【学校教育課長】4対6で臨時職員が多い。経験者枠の採用試験も行い、正規職員の割合をできるだけ増やしたい。

こども園
正規職員比率は

【委員】病気、介護等で子どもを一時的に養育できなくなった場合、高齢者の「ショートステイ」のような制度が必要ではないか。【福祉保険課長】児童養護施設(丸亀市)、ファミリーサポート(町内)、乳児院(坂出市)との委託契約を検討している。

保護者支援
短期入所・夜間養護等
「子育て短期支援」予定



成果は 試合で

【委員】香川県部活動ガイドライン策定を受けて、まんのう町の考え方は。【学校教育課長】4月からは水曜日と土・日のいずれかは部活動を休みとし、週2回の休養日を設ける。

部活動
休養日などの指導は

※香川県部活動ガイドライン：生徒の心身の健全な成長と教員の負担が過度とならないことにも十分配慮しながら部活動が持続可能なものとして充実、発展することをねらいとして策定されたもの。平日の活動時間は、2時間程度としている。文化部も同じ扱いである。

総務常任委員会

- 交通安全対策 ●交通弱者 ●男女共同参画 ●若者住宅取得 ●まんのうひまわりオイル

交通安全対策
路面凍結でのスリップ
事故防止対策を

【委員】 琴南地区で路面凍結によるスリップ死亡事故が続いたが、今後の対策としてどのような活動を考えているか。

【総務課長】 告知放送やHPによる広報啓発活動、エピアみかど付近に看板を設置する。

【委員】 公用車の冬用タイヤ等の対策はできているか。

【総務課長】 対応をしている。

【委員】 頻繁に凍結が起こる箇所は、路面表示等の注意喚起はできないか。

【総務課長】 毎年凍結するような箇所は、凍結注意の看板を設置している箇所もある。

交通弱者
いろいろな制度が
ある事の周知を

【委員】 免許返納した高齢者で、デマンドタクシーを知らない方がいる。もっと啓発をしたらどうか。

【総務課長】 買い物や病院にも行けない交通弱者は免許返納をためらう方が多い。町はデマンド

タクシーや福祉タクシーを備えている。高齢者買い物支援事業も実施していることをいろいろな機会で啓発をしていきたい。

男女共同参画
10年を迎え
マンネリ化か

【委員】 女性議会について、10年を節目に開催場所等の変更を考えてみてはどうか。若手議員のなり手も少ない中、子どもたちが、子ども議会を体験することにより、議会に興味を持ち、議員の仕事をしてみたいと思うきっかけになるかもしれない。



女性目線の質問

【企画観光課長】 女性議会は、男女共同参画社会基本法の趣旨に基づき実施している。女性の意見や行政に対する要望が、実現し施策に反映したこともある。女性議会の開催は、男女共同参画推進委員会で協議して企画されている。

若者住宅取得
若者をまんのうの住民に

【委員】 PR看板を琴南地区と仲南地区にも設置すべきではないか。

【総務課長】 若者住宅取得補助金は受付件数52件の内で町内が36件、町外が16件で丸亀市、高松市の方が多くあった。PR用看板を琴南地区と仲南地区に設置する予定である。



若者を呼ぼう



良い品質は植えつけから収穫まで

まんのうひまわりオイル
販売戦略の検討を

【委員】 ひまわりオイルの引換券方式による全戸配布の率と効果は。

【企画観光課長】 まんのうひまわりオイルが平成30年度優良ふるさと食品コンクールにて香川県で初めての「農林水産大臣賞」を受賞した。広報同封の引換券方式により全戸を対象とした配布結果では配布率は38%となり、効果は充分ではなかった。今後はPRを含めた販売戦略等、事業展開の検証を行う。

建設経済常任委員会

●ひまわり事業 ●地籍調査 ●町道改良 ●ため池 ●災害

現場視察

◆2月14日、町道改良工事（町道杉の上秀石線、町道片岡西線）、県営中山間総合整備事業（西部水路改修工事、オリーブ生産拡大総合支援事業）の現場視察を行った。



町道片岡西線改良工事

◆所管課より報告と質疑答弁（農林課）

- ・ 農業委員関係、農業振興関係、農地の新規集積面積、農地の集積率
- ・ オリーブ生産拡大総合支援事業について

ひまわり事業 新たな商品開発を

【委員】6次産業化を目指し、加工用、業務用野菜の生産者への補助事業はあるのか。
【農林課長】調査し、報告を行う。

【委員】ひまわり関連の商品開発販売等について次回委員会で状況報告を求める。

【農林課長】次回委員会には、担当者が出席し、報告する。

（地籍調査課）

・ 調査地区工程検査・閲覧等について
※委員より調査前と調査後の比較資料を次回の委員会から提出することを求めた。

（建設土地改良課）

- ・ 土地改良事業関係進捗状況
- ・ 主なため池の貯水状況
- ・ 林道、公共土木、都市計画
- ・ 住宅事業関係進捗状況
- ・ 町道路等建設事業に対する補助金交付要綱
- ・ 町、災害応急対策事業補助金交付要請
- ・ 町民間危険ブロック塀等撤去補助事業補助金交付要綱について
- ・ 下水道区域変更、法非適用から公営企業会計への移行について



改修が待たれる小規模ため池（松尾下池）

Report
01

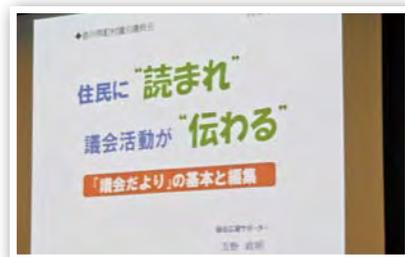
香川県町議会広報委員研修会

【日時】平成31年1月16日

【場所】香川県自治会館7階大会議室

研修で改善点の指摘をうける

研修で改善点の指摘をうける。研修会では、委員名、顔写真、質問テーマ+Q&A、質問を終えてひとこと、が加わる「4点セット」のフォーマットにするなど、優れたところや改善課題などの指摘をして頂き、今後の編集活動に役立つ研修会をして頂きました。



議会広報サポーターの芳野政明講師を招き、基調講演、議会広報クリニックをして頂きました。1部、基調講演・2部、議会広報クリニックに分けての講演をして頂き「基調講演」では、**住民に「読まれ」**

議会活動が「伝わる」

「議会だより」の基本と編集

の講演を受け、中でも「写真の

扱い、レイアウト、キャプション（説明文）

を効果的に見出しで読者を引き付け思わず読

んでしまう」が印象的でわかりやすく、と

てもいい勉強になりました。「議会広報クリ

ニック」では、芳野政明講師に、集まった各

9町の議会だよりを見てもらい、主な事業や

特に目玉事業の紹介は、写真を使いクローズ

アップ訴求力をつける、又、一般質問では、

議員名、顔写真、質問テーマ+Q&A、質問

を終えてひとこと、

が加わる「4点セッ

ト」のフォーマット

にするなど、優れた

ところや改善課題な

どの指摘をして頂き

今後の編集活動に役

立つ研修会をして頂

きました。

議員名	質問内容	関連ページ
まつした かすみ 松下 一美	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策を問う ・商品券発行事業を問う 	P14
たけばやし まさひで 竹林 昌秀	<ul style="list-style-type: none"> ・教育は人の成長への援助ではないか。人間観こそ教育の焦点だろう。教育長が本町教育で目指す人間像をご答弁願う。 ・防災アドバイザーの配置の狙いは何だったのか。その実績等検証を行い、報告を求める。 ・総務課の行政改革の所管は何を手がけたのか。実績と課題の報告を求める。 	P14
かわにし まきこ 川西米希子	<ul style="list-style-type: none"> ・マイキープラットフォームについて ・専門職員の雇用について 	P15
きょうかね あいこ 京兼 愛子	<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな人材を育てるまちづくりについて 	P15
すずき たかひろ 鈴木 崇容	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの重要性と必要性 ・スクールロイヤーとスクールロイヤー制度導入について 	P16
こうだ まさお 合田 正夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりオイル、種で商品化を 	P16
かわはら しげゆき 川原 茂行	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興について ・森林整備について 	P17
こやま なおき 小山 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・国保料の負担軽減を求める ・デマンドタクシーの拡充について ・敬老祝い金について 	P17
つねかね めぐみ 常包 恵	<ul style="list-style-type: none"> ・移住・定住の促進について ・まんのうブランドの推進について ・福祉タクシーの利用条件緩和について 	P18
しらかわ まさき 白川 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・「綾子踊」と「全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会」について 	P18
おおにし ゆたか 大西 豊	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川土器川の河床整備について 	P19

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

3月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

専門性の発揮を期待する



竹林 昌秀 議員

災害対応を求める

問 防災アドバイザーとは何か

答 啓発と訓練、本部員だ

竹林 防災アドバイザー配置の狙いとは何か。その実績検証を求める。

町長 自主防災組織活動の防災講話や避難訓練などの啓発と災害対策を担っている。

竹林 部隊運用の経験を生かす職責を担ってもらえぬか。

町長 複雑な編成の軍事組織を運用し、図上訓練や実働訓練を遂行する統制や調整能力が応急や普及活動に貢献できる。災害対策本部要員として、設立、運営や指揮などで連携を図る。

竹林 善通寺の第14旅団と第15即応機動連隊との連携を深める手立てを求める。

町長 本町は同連隊が担当しており、2月に国営讃岐まんのう公園での香川県国民保護実働の共同訓練に参加している。

竹林 有事法制とは何か。国民保護計画では本町は何をするのか。

町長 戦争やテロなどの武力攻撃事態が起きたときに、自衛隊、警察、消防などが緊急対応を行うための法制度である。国民保護法は同計画を立てておいて、国民の生命や財産を守る対応をとる。

竹林 災害法制とほぼ同じだが、災害時は市町村が自ら判断するが、有事では政府の指示に基づく対応となるのが相違点だ。県下の危機管理監らとの連携と広域対応を求める。

町長 2府19県を統括する中部方面総監部で、OBによる自治体の防災体制や訓練などの意見交換会を開いている。市町の枠を超えた迅速な応急対応や復旧と復興体制の構築が必要である。

竹林 防災アドバイザーに市町間や国県との連絡調整役を期待する。

交通安全対策

問 横断歩道の設置を

答 総合的な交通事故対策を推進する

松下 昨年から要望しておりました県道長尾丸亀線では、岩薬師付近が改善され、鯉岩における空の大木も伐採されて、見通しが良くなり今後は歩道の設置が望まれます。国道438号の天神、檜林地区における横断歩道の設置が進んでいません。通行量も多く特に朝夕の通勤時間帯は、かなりのスピードが出ており、周辺の方々は危険な思いをしている。1日も早い横断歩道の設置ができないものか。

町長 横断歩道の設置は難しいが、交通環境の整備など、総合的な交通事故対策を推進していく。



急がれる横断歩道の設置

商品券発行事業

問 プレミアム商品券の発行は

答 従来どおり 10%で行う

松下 今年の10月1日より消費税が10%に増税の予定だが、現在町の地域振興基金が10億6000万円余りあり、少しでも住民の負担軽減と町内商工業の活性化の為に基金の活用によるプレミアム20%の商品券を発行してはどうか。

町長 非課税世帯、子育て世帯に対しては国において事業費の全額補助により購入上限2万円、2万5千円のプレミアム25%で発行予定であるが、一般には従来どおりで発行する予定である。

消費税10%
対策はいかに



松下 一美 議員



笑顔で
つながる町へ

まちづくり

問 高齢者との交流は

答 地域の方との自然なつながりを

京兼 こども園との年齢差が異なる交流の積み重ねが原風景となり、ふるさとも感じ住み続けたい町となり本町のまちづくりにつながると考える。実態と更なる交流を深めることを望む。

教育長 地域の人や高齢者との交流をし、触れ合い、子どもの感情や意志を表現しながらも共に楽しみ、共感し合う体験を通して、人とかかわり合うことの楽しさや人の役に立つ喜びを味わうようにすることが大切であるため、町内の全てのこども園では、生活発表会や祖父母参観あるいは、高齢者福祉施設などへの訪問を実施して地域や高齢者との交流を行っている。これらの体験は、地域の文化が子どもたちの心に印象に残り、継承されていくのではないかと思います。将来、地域の担い手になってくれると願っている。



地域とかかわりを



専門職員の雇用

問 情報技術専門職員の雇用を

答 職員のスキルアップと外部からの登用も検討したい

川西 情報技術活用においても専門家の雇用が必要ではないか。

町長 近年の情報化社会に適応し、内部管理事務の効率化を図る上では情報システムの活用が重要であり、専門性の高い職員の配置による迅速な対応が必要であると認識している。

マイナンバーカード（マイキープラットフォーム）

問 活用事業を

答 マイキープラットフォーム運用協議会に参加の方向

川西 国はマイナンバーカードのマイキー部分（ICチップの空きスペース）を活用して、行政サービスの効率化や地域活性化を図るマイキープラットフォーム構想を一昨年9月に開始した。住民が行う健康に繋がる活動やボランティアに対して効率的にポイントを付与し、付与したポイントを活用して地域の消費活性化等に繋げることもできる。自治体の工夫で多様な使い方が可能であるが、今後の積極的な利活用の考えは。

町長 各自治体が様々な実証実験を行っているようである。情報収集しながら国の動きに合わせて町を活性化させるために何が活用できるのか考えていきたい。

全住民が参加できる
楽しい取り組みが
あれば…



川西米希子 議員

ひまわりオイルの
幅広い活用を願う



合田 正夫 議員

ひまわり商品

問 種子で「まんのうブランド」
の開発を

答 さまざまな業種にアプローチし
問い合わせもきている

合田 ひまわりによる町の活性化のためには、経営の安定化を図り栽培農家の生産意欲の向上に繋がる多様な戦略が必要である。ひまわりの持つ可能性を最大限に生かした「新たなひまわり商品」の開発が必要ではないか。企業や大学とも開発協力し、今までにない魅力的な商品が開発できれば絶大な効果をもたらす。

ひまわりオイルについては、まだ住民の認知度が低い。住民にもどんどん購入して貰えるように宣伝の必要があると思う。町内の子ども園や小、中学校の給食でも利用すればよいのではないかと。

町長 ひまわりオイルについては、平成30年度香川県特産品コンクール食品部門で知事賞「最優秀賞」を、平成30年度優良ふるさと食品中央コンクール（国産農林産品利用部門）においては、「農林水産大臣賞」を受賞する事ができた。

現在、食用オイルだけではなく、様々な業種にアプローチし問い合わせもきている。酒造会社とご当地焼酎の可能性も含めた協議も進めている。名誉ある賞を受けたこのタイミングが事業展開の上で特に肝心なので、振興協議会等の関係団体等と協議しながら事業の推進を行っていききたい。学校給食にも利用できるよう進めていきたい。



さまざまな使い方にチャレンジ

スクールソーシャルワーカー【ssw】

問 SSWの重要性と必要性

答 資格者をそろえて対応している

鈴木 子供を取り巻く環境は、いじめ、不登校、日常生活、ネット社会など様々な問題があり、直面する子ども達が増えた事も明らかだ。学校内や教育委員会だけでは対応しきれない事があり、専門機関と連携をする為に文科省は2008年から都道府県に対しSSW活用事業を実施し香川県は、いち早くこの事業を導入した。まんのう町にもSSWの方が配置されていると聞いている。そこでたずねるが、SSWとはいったい何か。どういった方がなれるのか。

教育長 SSWは、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格者で色々な問題を抱える家族、子供を支援する専門家である。

スクールロイヤー、スクールロイヤー制度導入

問 スクールロイヤー（弁護士）の検討を

答 考え方は同じ方向性である

鈴木 学校内では様々な問題、いじめ、体罰、不登校、不適切発言、パワハラ、モンスターペアレンツ（不当な保護者のクレーム）色々ある。この様な問題を迅速に解決するにはスクールロイヤーに頼らなければならない。まんのう町はこの制度を導入する考えがあるのか。

教育長 まんのう町は顧問弁護士と契約を結んでおり、トラブルが発生した時は顧問弁護士に相談して解決に向かう。

子どもを育てる
のは親の義務
守るのは大人
みんなの役目



鈴木 崇容 議員



高齢者に
やさしい施策を

小山 直樹 議員

高過ぎる国保料

問 町独自の補助をすべきだ

答 町も支援制度の創設を
国へ働きかける

小山 高過ぎる保険料の軽減策として町独自の補助をすべきだ。サラリーマン世帯の倍程を払っている。とりわけ、均等割は0歳の子供にも大人と同じ負担を強いる。支援すべきだ。

町長 保険料が増え続けていることに苦慮している。負担軽減に向けて厚労省や国会議員など各方面に働きかけている。

デマンドタクシー

問 町民の足を確保するのは

答 予想される課題を包括的に検討していく

小山 町民の足を確保すること、守ることは自治体の大事な仕事だ。デマンドタクシーは、町民の重要な足として、今後はその役割が一層大きくなる。もっと気軽に利用し易いものにすべきだ。

町長 加速する人口減少や高齢化に伴い、公共交通に求められる要素は多くなると予想する。関係する事業者とも協議・連携し、今後の交通施策の在り方について包括的に検討していく。

敬老祝金の縮小

問 社会貢献への感謝と今後への期待

答 財源確保が急務

小山 公からの、これまでの社会貢献への感謝であり、これからの更なる貢献への期待と、こころ豊かに穏やかに過ごして戴きたいと願う後輩からのお祝いではないか。家族から貰うおこづかいとは意味がまったく違う。

町長 条例施行から12年余り経過し、福祉行政を取り巻く環境も変化した。町財政も厳しさを増すと共に新たな施策二エースの高まりから、財源確保は急務となっている。高齢者をいたわり、丁重にもてなす心にいささかの変わりはない。

職員配置の適正

問 ほ場整備に 専従職員の配置を

答 体制整備は重要と考える

川原 農地の荒廃、耕作放棄地等を防止し農村環境の整備を推進し、これからの時代に対応できる農業を樹立するため、ほ場整備（区画整地・水路のパイプライン等）を実施する「専従職員」の配置を要望する。

ちなみに、県営によるほ場整備を実施した場合、事業費10a/250万(仮定)に対し国、県、町の補助は、95%で、237万5千円が受益者(個人)に補助される。事業が実施されれば町内における経済効果は計り知れない。

町長 儲かる農業経営を实践できる担い手の育成、安定的に生産できる基盤の確保、それを可能にするための体制整備が重要と考える。関係機関が一体的に活動して農地集積・集約化を加速的に推進していく。

担い手不足の地域に対しては集落営農に関する説明会等を実施、初期費用等の独自支援も行いながら集落営農法人設立を強く推進していく。園芸かがわ産地構造対策事業など有利な補助事業を利用して高付加価値商品生産へ取り組む農家の支援をしていく。



またれる ほ場整備

ほ場整備に
力を入れて



川原 茂行 議員

保存会で
交流を



白川 正樹 議員

ユネスコ無形文化遺産登録を目指す

問 「綾子踊」が属している「ふりゅう」とは

答 集団による歌と踊が「ふりゅう」

白川 今年2月に全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会という全国的な組織が立ち上がりました。組織名が「風流(ふうりゅう)」ではなく「ふりゅう」です。「ふりゅう」とは何か。

町長 「風流」という文字は「ふうりゅう」というが、民俗芸能の分類の名称としても「風流」が使われて「ふりゅう」と発音する。室町時代、衣装や手に持つものに趣向を凝らした集団による歌と踊りが「ふりゅう」と呼ばれた。

問 ユネスコ登録以外に何か

答 貴重な民俗文化財を継承していく

白川 ユネスコ無形文化遺産登録を目指す全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会であるが、それ以外には。

町長 33団体が加入した全国組織の主な目的は、「風流」の仲間がお互いに助け合い、支え合いながら、貴重な文化財を保存継承していくこと。地域の誇りや愛着、保存団体の士気を挙げる目的で登録に取り組むが、本来の目的は保存会が交流を通じて、励まし合い、支え合いながら貴重な民俗文化財を未来につなげていくことである。



「風流」グループに属している「綾子踊」

福祉タクシーの利用条件緩和

問 精神障害者保健福祉手帳も対象とすべき

答 前向きに検討する

常包 統合失調症、てんかん等の患者さんの自立、社会参加促進を図るための手帳。手帳の有効期間が2年であり助成に工夫が必要だが、福祉タクシーの目的からも助成対象者に加えるべきだ。

町長 手帳の有効期間が2年と短く確認時の手続きが煩雑になり、JRの割引が対象でなかったことなどから助成対象外になっていた。対象要件の拡充に前向きに検討していく。

人口減少対策＝移住・定住対策＝

問 移住・定住相談窓口、情報発信の一元化を

答 わかりやすく情報発信していきたい

常包 ①相談内容が多くの子育てに関する課に一元化し組織を設置すべき。地域に詳しい人を相談員(高齢者見守りも兼ねて)として委嘱し、きめ細かい体制を。

②他自治体に負けないセールスポイントは、子育て環境(給食費無償化など)の充実を求める。全国1,471市区町村で、実施が少ないからこそアピールできる。

町長 ①現職員体制では独立部署設置は困難だが、相談事例をまとめ、知りたい情報をホームページなどでわかりやすく一括して発信できるよう工夫する。地域見守りを兼ねた支援員は、今後の検討課題とする。②セールスポイントは、都会にはない豊かな自然・交通アクセスが良い・快適なネット環境・充実した教育環境などである。

教育長 ②子どもも園児の給食費無償化について、幼稚園型の園児で約450万円必要、保育所型の園児を含めての必要額はまだ試算できていない。



相談窓口を一元化(島根県邑南町)

若者を呼び込み
流出を止めよう



常包 恵 議員

取材の足跡



平成最後の卒業式



卒業おめでとう（お茶会）



炊き出しの蒸しパン、おいしかったなあ



満濃池を見ながら健康マラソン



町民のみなさん、取材にご協力ありがとうございます。

一級河川土器川の河床整備

問 洪水による、満濃大橋橋脚の洗掘の防止、河床止溝床工工事必要

答 国土交通省及び県に対して要望していく

大西 土器川における水害は、延長の短い急流河川のため一度洪水が起きれば激流となる暴れ川、増水のたびに被害をもたらしてきた。大正元年9月の洪水では各所で堤防が決壊し、川沿いの家屋や耕地の流失、浸水さらに死傷者を伴う甚大な被害が発生した。戦後は、河川整備の進捗とともに、堤防の決壊を伴う甚大な被害は発生していないが、増水のたびに河岸侵食や護岸の崩壊などの被災が各所で繰り返し発生。又近年では昭和50年の台風6号による乙井橋の流失、昭和62年台風19号による荒川導水管の被害、平成2年台風19号では、野津郷床止溝床工被災、平成16年の台風23号による洪水では、戦後最大規模の流量を記録し、満濃大橋橋脚周辺の洗掘による橋桁沈下等の災害が発生。今年度も応急対策としての満濃大橋橋脚周辺の地固め工事。丸亀市でも中方橋の橋脚の沈下による通行規制が複数年工事のため住民に不便をかけている。原因を究明し早急な床止工事を。

町長 満濃大橋付近の河床については、香川県が平成16年の台風災害後も橋脚の河床洗掘の対策工事、平成29年度及び30年度に2橋脚の基礎部分の応急対策を実施しており、今後の追加対策についても、香川県は国土交通省に対して設計協議を進めている。



洗掘された満濃大橋橋脚の補強



早急な
対策を

大西 豊 議員

議会から こんにちは No.23

まんのう町吉野地区 支部社協の取組み いこいの場所



いきいき体操でリフレッシュ



振り込め詐欺から
身を守ろう

3月20日、吉野公民館で開催の「ほっと♡みよしのカフェ」にお伺いしました。毎週水曜日に開催される9回目の今日は琴平警察署から、振り込め詐欺や空き巣被害にあわないための説明

を受けました。みんなで行う「まんのういきいき体操」は、毎回しているそうので、皆さん「まかしくけー」と得意顔でビデオに合わせてイチニイチニ。
「どなたでも気軽に参加



いこいの場所 今日のスタッフ

いただき、いこいの場所になつてくれれば、と支部社協の役員で始めました。毎回60名位の参加があり、運営にもやっと慣れました。長く続きできるように、スタッフも出れるときにお手伝いすることになっています。地域のより所として根づいてきたことにひと安心です。」と代表の多田さん。

今では町内全域から参加があるそうです。参加費は100円です。

問合せは、吉野公民館
(079-38003)まで

今号の表紙 「入学式」 仲南小学校

平成最後の入学式。5月から、令和元年です。この子たちは令和を代表する若者に成長してほしいものです。



満濃南こども園

あしがき

編集委員 常包 恵

平成から令和へ、新しい時代のスタート。「古き良き時代」の伝統・経験をいかし、どんなことにもチャレンジ。

議会だより第31号をお届けします。編集委員一同、「読みやすくなったなあ」と言われることを目標に、気持ち新たに努力します。



議会広報特別委員会

- 委員長 白川 正樹
- 副委員長 鈴木 崇容
- 委員 松下 一美
- 委員 川西米希子
- 委員 京兼 愛子
- 委員 常包 恵



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。